

6月開催の総代会にて100円基金の設置を提案します

2020年度コロナ禍が始まり、他県のグリーンコープで行う地域福祉の活動に目を向け、自分たちグリーンコープ生協ひょうごの組合員でも地域のために何か出来ないか学び、検討するようになりました。時を同じくして、オールグリーンコープで「夢ヲかたちに！理事会」が各地域（県）で始動し、自分たちの住む地域がよりよい街になるようにと、「あったらいいな」や「夢」を語り合い、自分たちの夢を叶えるために検討しています。

グリーンコープ生協ひょうご理事会でも、理事だけでなく、ワーカーズ虹色や家計相談室メンバーを加え、違う立場の色々なメンバーでひょうごでも「あったらいいな」「夢」を語りながら、今の自分たちでも実現できる活動を少しずつ始めています。

生協の運営で得た利益は、組合員の為運営改善のために使います。福祉の活動を継続して広げるためには、グリーンコープの各県で設置され、福祉活動に生かされている**100円基金**（＝福祉活動組合員基金）が必要と理事会で検討し、「100円基金（＝福祉活動組合員基金）について」福祉準備会通信やつどい等でこれまでお伝えしてまいりました。

そして、1月理事会の検討で、第18期総代会（2022年6月開催）の議案として『福祉活動組合員基金（＝100円基金）の設置』を提案することが決まりました。

そこで現（2021年度）総代の皆様に100円基金についてのご意見や感想をお尋ねしました。内容ごとに応答と合わせてご紹介します。

お届けいただいた声（紙面の都合で表現は一部編集しております）

☑ 総代ニュース・福祉準備会通信など読ませて頂いています。今後ますます様々な分野で共助が必要になってくる時代なんだと改めて感じさせて頂きました。子供、孫の時代、益々複雑で大変な地球・社会になっていきますが、グリーンコープさんは先々を見て昔から実行に移されている事を有難く思います。微力でも協力出来る事があれば、していきたいと思いました。

 グリーンコープ生協ひょうごが設立して以来、兵庫県ではコロナ禍以外大きな災害もなく本当に安寧に過ごしてこれたのだと思います。他県での自然災害に対しグリーンコープが動く姿を見ると、緊急支援が終わった後も必要と思う支援を継続的に続けていくことの必要性を感じます。それは人と人のつながりで行われるグリーンコープらしい取り組みとなっています。

そして兵庫県でも、コロナ禍ですぐには見えない困難を抱える方が増えている事を、この1年の様々な出会いを通じて感じています。今後も福祉の活動をひょうごで継続的に、そして必要な福祉を検討し広げるためには資金が必要です。グリーンコープは参加型地域福祉をすすめていくため、組合員一人ひとりが毎月100円を出しあう「福祉活動組合員基金（＝100円基金）」に取り組んでいます。これによりマンパワーを育み、100円ずつ出し合うことで、一人ひとりが参加する地域福祉の実現を目指しています。

✉ 100円基金は月100円なら出しやすい金額で良いと思いました。

✉ 毎月100円というのはすごくむりがなくてとつきやすい（理解しやすい、うけいれやすい）と思うので、とてもいいと思います。多くの方が賛同されると思います！

 1人500円ではなく100円…。今の時代ジュース1本、おにぎり1個買えない100円ですが、組合員みんなで出しあう、集まると出来る事が増える、自分の100円がこの活動を支えていると思える、そんな100円です。参加していただけたら「私の100円は何に使われたんだろう？」と気にしてもらえる…。そんな参加型地域福祉を目指しています。

✉ 福祉事業は多くの事業所があり、私もそのひとりとして福祉の場で働いていますが、主に食を通してはたらいておられるグリーンコープの福祉は生きる原動力、欠かすことのできない食をテーマに地域を支えていく存在としてとても価値のある働きであると思います。何かできることがあったら、積極的に関わっていきたいと思っています！

 積極的に関わっていきたいという言葉、心強いです！すでに福祉事業が多くあったり支援する団体が多くある兵庫ですが、様々に苦勞されている方がまだまだ多い事をこの間知りました。まずは基金設置を総代会で可決頂き、益々100円基金を組合員に知ってもらい、抛出同意していただけるよう、今後働きかけていきます。

✉ 福祉の活動って難しいなといつも思います。援助・出費って時間やお金に余裕がないと気持ちを込めたことはできないと思います。今回の100円、たった月に100円。なのですが、その月100円のために努力されている方もたくさんいらっしゃるけど、その100円の努力をご自分の裕福のために使われているなら募金への意欲につなげられるけど、各々事情がある中で100円の重みが違ってきます。だから、「同意」「不同意」をとるのだと思いますが、「全員」という言葉と基本理念は「強制」に似た感覚におちいりやすいかも・・・

 「全員で100円基金に取組むことの意義」について改めて理事会で意見交換しました。3人が200万円出して600万円となっても、その人たちだけしか関心を寄せないし、毎年出してくれるわけではない、しかし、ひょうごの組合員約5,000人が毎月100円を出し続けてくださることで、毎年約600万円が集まる。そして、その1年間で1200円出した5,000人の組合員の方が関心をもってその使い道を一緒に考えたり意見が言えたりする…そんな参加型の基金を設置したいと考えて検討しています。不同意書だけを提出する場合書類を出さない人から徴収する、強制のように感じる基金ではなく、ひょうごでは丁寧に進めるという意味で、皆さんに同意か不同意かをお尋ねし、強制的には集めません。ただし、100人からしか同意が得られなければ、月に1万円です。ワーカーの費用や活動の会場代、キッチンのある場所を借りること等が難しくなります。同意してもらえた人数分それだけの範囲の活動になるので、出来る限り全員から同意していただけるよう、自分たちの基金だと思っていただけるよう、伝えていきたいと思っています。ご理解頂けると嬉しいです。

✉ 「福祉は再配分」です。グリーンコープ組合員内にも再配分を受ける側もいるでしょう。受ける側が声を出さなければ免除できない方法は良くありません。

 もちろん同意できない方からの徴収はしません。けれど、どなたにも平等に同意か不同意か、グリーンコープ生協ひょうごの全組合員に意思表示をお願いしたいと思います。支援を受ける方が遠慮なく受けるために「毎月100円なら出せる、出したい」という場合もありますし、「今は無理だから100円出せるようになったら出します」という場合もある。逆に「100円出していただけれど、出せなくなった」という場合も考えられます。

✉ 現場には、今すぐ対応すべき問題があり、それにとりくんでいる人々がいます。ぜひすでに実施している活動を見に来ていただき、グリーンコープの活動の1つとして検討していただければと思います。

 兵庫県には、素晴らしい福祉の活動をされている方や団体がたくさんあります。私たちはそういう方々にひょうごの現状を教えていただきながら、グリーンコープ生協ひょうごが欲しい福祉の活動、いずれは福祉の事業を考え、しっかりと検討して行う、そしてしっかり1年1年自分たちで総括してその先進めていきたいと考えています。グリーンコープ理事会の責任で総括しながら進める福祉の活動にグリーンコープで集めた基金は使われます。そうでなければ、組合員で集めたお金を平等に使うことはできないと考えるからです。福祉活動組合員基金を設置していない現時点で、先に取り組んでいる団体に助成することは考えられませんし、グリーンコープの中から生まれていない、先に取り組んでいる団体を『グリーンコープの活動』と考えることはできません。

✉ 「子育てサークル」「ひだまり」「～夢をかたちに！Café～」と活動が始まったこと、また活動の様子を知れてうれしく思います。

✉ 子育てサークルやひだまりの活動報告を読んで、グリーンコープで子どもたちと保護者の居場所づくりの活動のために100円基金で是非継続してほしいと思いました。尼崎や宝塚など他の地域での開催も応援しています。

 今グリーンコープ生協ひょうごで検討して生まれている活動を継続し各地域に広げるためには資金が必要です。100円基金を設立し各地域にグリーンコープの居場所が広げられるよう検討します。

✉ 基金の考え方はとても素晴らしいものだと思いますが、現時点での使途が明確でないため、その内容をきちんと詰めたうえで、何にいくら必要か予算化して提示していただいた方が抛出しやすいと思います。

 新型コロナで社会が変化したように、その時その時の社会状況を見ながら行う参加型地域福祉の実現・充実の為の基金で、今と未来を支える財源となります。具体的には「グリーンコープ生協ひょうごで検討する地域福祉活動」、また私たち自身やお互いに助け合う仕組みとして、「家事」「託児」「配食」等生活を支える様々なワーカーズの育成や運営の助成のために使いたいと考えています。ですから、現時点では使途を限定することができないため、予算化ができないのが現状です。先に使途を限定的に提示することで、その「使途を叶える為の基金」となり限定的な基金になってしまうからです。（クラウドファンディングとは違います）

進め方のイメージとしては、今年6月に基金設置が可決されましたら、9月までに抛出同意・不同意書を全組合員より集め、10月請求分（11月引き落とし分）より毎月100円の抛出が始まる計画です。組合員による「福祉活動組合員基金運用委員会」を2023年度4月より設置し、夏頃に助成申請されたものを検討、まずは1年間で集まった基金より助成決定します。（毎年助成報告会も開催予定）残った基金とその後もし引き続き組合員から集まる100円基金をまた次の年に繰り越していき、少しずつ広げていく計画です。様々なことが早く実現する為に多くの方に抛出同意していただけるよう、働きかけていきます。

✉ 支援されたり、利用できるのは、グリーンコープ組合員だけですか？

 生活協同組合は生協法によって生協の組合員以外に商品を販売することはできません。しかし、福祉の活動は生協の事業とは切り離して進めますので、組合員だけでなくグリーンコープ生協ひょうごの活動地域のすべての方が居場所やサービスが利用できるよう計画しています。

☑ 「私は受けないサポートもないし、ワーカーになる時間的余裕もないわ」と思っていたのですが、具体的にサポートを見て、私にもこれならお手伝いできるかなと思うものが見当たりました。皆が自分の時間の少しを誰かのために使ってあげたら、やさしい世の中になるのかなあ。いいなあと思いました。



心強い言葉に励まされました。グリーンコープの福祉がグリーンコープ生協ひょうごでも根づくよう、今後も検討を重ねます。

※福祉準備会では広く組合員さんにお声がけして福祉準備会での検討に参加していただけます。ご興味があれば準備の段階からご参加いただけるよう募集していますので、組合員事務局までご連絡ください。

【その他いただいた感想】

☑ 福祉活動組合員基金の活動に賛同します。弱い立場に居る人のことを以前は自己責任だと感じていましたが、今はその人の環境や背景にも目を向けることができるようになりました。福祉活動は決してどちらが強い立場でも弱い立場でもないと感じるグリーンコープのていねいな通信にいつも感動しています。

☑ すばらしい取り組みを企画、実行してくださり、ありがとうございます。

☑ 誰だって年をとるし、同じ毎日を歩めるという保証はなく、人はひとりでは生きていけず、神様だって私たちをひとりである存在として創られたのではなく、支え合い補いあう存在として共に生きるものとして人を創られたのですから、ひょうごの取り組みはむりなくスタートできる、すばらしいものだと思います！

☑ 配食サービスについて感じたことですが、家族が長期入院している人への配食があればいいなあと思いました。例えば、子どもの入院に付き添っている場合、出産や病気等で母親が入院している場合など。

☑ ～福祉活動組合員基金（100円基金）が設立したら、組合員は何が変化するの？～は組合員にも直接的に分かりやすかったです。

☑ 福祉活動を広げる上で基金は必要だと思います。数年前に娘が不登校になり、不安なこともあったので、「ひだまり」の様な居場所が増えればいいと思います。高齢者にとっても気軽に話ができる所があるのは有難いですね。様々な人の居場所がGCでも広がります様に・・・

☆☆☆☆ たくさんのご意見・感想を寄せていただきありがとうございました。☆☆☆☆

各組合員毎月100円拠出していただく事で、自分たちが利用できる、また自分たちは利用しなくても誰かの役に立てる、そして活動の場ができたなら自分の力を生かせる...

そんな基金を設置し、ひょうごの地域づくりを継続的に続けていきたい、今はそんな思いだけで設立を目指しています。何から始めるのかは、始められるときに必要なこと、始めるメンバーで必要と思うことから始めます。そのために様々なことを知って、たくさんの方から学び、「〃グリーンコープ生協ひょうご〃だからこれを選んだんだね」と感じていただける活動を行います。

ひょうご5000人の組合員で力を出し合い、関わっていける

そんな参加型地域福祉活動を今後も考えていきたいと思っています。

100円基金設置の検討を進めていくため、組合員の皆さんに、グリーンコープ生協ひょうご（「夢ヲかたちに理事会」や「福祉準備会」）の活動や検討の様子をきちんとお伝えできるように、福祉準備会だより「夢ヲかたちにinひょうご」を発行しています。この福祉準備会だより「夢ヲかたちにinひょうご」をお読みいただき、ご意見やご感想をお届けください。（右QRコード又はhukusi_midorin@yahoo.co.jpより）

バックナンバーのご要望も☆（グリーンコープ生協ひょうごHPにて掲載中）

ひょうごらしい福祉活動組合員基金の設置を実現し、組合員の皆さんとともに、より良い地域福祉に取り組んでいきたいと思っています。今後とも宜しくお願いします。

